

とくしま オーガニック情報

NPO法人徳島県有機農産物認証協会機関誌

第 11 号

徳島市かちどき橋 1丁目41番地
徳島県林業センター 4階
徳島県農業会議内

TEL 088-655-8368

FAX 088-655-8364

<http://www.tokukaigi.or.jp/youki/>

E-mail ninsho@tokukaigi.or.jp

1 年間の活動記録

●理事会・総会

- 平成23年5月19日（午前）に第15回理事会を開き、総会議案を審議しました。
- 平成23年5月19日（午後）に第11回通常総会を開き、①平成22年度の事業報告及び収支決算、②平成23年度事業計画及び収支予算、③役員（理事、監事）の改選について決定しました。出席者49名(委任状含む)でした。

●生産行程管理担当者等講習会・格付担当者等講習会

- 平成23年6月22日に生産行程管理担当者等講習会及び格付担当者等講習会を開きました。受講及び修了者は30名でした。

●研修

- 平成24年3月21日に改正が予定（平成24年3月28日改正）されている有機JAS規格、有機使用可能資材のリスト化、認定の技術的基準等について認定事業者を対象に研修会を開催しました。参加者は21名でした。

●検査員・判定員・判定委員研修会

- 平成24年3月21日に検査員・判定員研修会を開催し、JAS規格、認定の技術的基準、有機使用可能資材等の見直し状況、また、現地検査の適正な実施について研修しました。
- 平成23年10月20・21日及び平成24年3月6日に農林水産省（委託事業）が行う有機JAS判定員研修及び検査員研修を5名が受講しました。

(2) 平成24年3月31日

●有機検査

平成23年度は次のとおり25回で30件の有機検査を行いました。

検査年月日	検査種別	件数	検査場所	品目
平成23年4月22日	有機加工食品生産行程管理者	1件	阿波市吉野町	乾燥麺、粉末乾燥麺、 α 化米
平成23年4月23日	有機農産物生産行程管理者	1件	板野郡藍住町	洋人参
平成23年4月27日	有機加工食品生産行程管理者	1件	名西郡石井町	そば米、そば粉
平成23年5月2日	有機加工食品生産行程管理者	1件	美馬郡つるぎ町	こんにゃく
平成23年6月12日	有機農産物生産行程管理者	2件	美馬市木屋平	ゆず
平成23年6月15日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	乾燥納豆、粉末納豆、焙煎納豆、桑の葉納豆
平成23年6月15日	有機加工食品小分け業者	1件	勝浦郡勝浦町	豆乳ティーバッグ
平成23年6月27日	有機農産物生産行程管理者	1件	美馬市木屋平	ゆず
平成23年7月26日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡上勝町	すだち酢・ゆず酢・ゆこう酢及びその皮、晩茶
平成23年7月26日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡上勝町	すだち、ゆず、ゆこう、茶
平成23年8月2日	有機農産物生産行程管理者	1件	板野郡板野町	レンコン
平成23年8月4日	有機農産物生産行程管理者	2件	美馬市木屋平	ゆず
平成23年8月5日	有機農産物生産行程管理者	1件	美馬市木屋平	ゆず
平成23年8月17日	有機加工食品生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	すだち酢、ゆこう酢、ゆず酢
平成23年9月16日	有機農産物生産行程管理者	1件	阿南市那賀川町	黒米、コシヒカリ、徳ばん、さといも
平成23年9月17日	有機農産物生産行程管理者	3件	美馬市木屋平	ゆず
平成23年10月3日	有機農産物生産行程管理者	2件	板野郡藍住町	洋人参
平成23年11月22日	有機加工食品生産行程管理者	1件	吉野川市鴨島町	すだち・ゆこう・ゆず清涼飲料、ノニジュース
平成23年12月6日	有機加工食品生産行程管理者	1件	板野郡板野町	有機レモン果汁
平成23年12月15日	有機加工食品生産行程管理者	1件	美馬市木屋平	ゆず酢
平成24年1月4日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	すだち・ゆこう・ゆず
平成24年1月20日	有機農産物生産行程管理者	1件	阿波市阿波町	米
平成24年2月3日	有機農産物生産行程管理者	1件	勝浦郡勝浦町	みかん、デコポン、はるみ、ゆず、たまみ、セトカ
平成24年2月10日	有機農産物生産行程管理者	1件	美馬市美馬町	キウイ
平成24年2月24日	有機農産物生産行程管理者	1件	鳴門市大麻町	レンコン

●有機判定委員会

平成23年度は次のとおり判定委員会を11回開催し、30件の判定を行いました。

年月日	種別及び件数	品目	場所
平成23年5月16日	有機加工食品生産行程管理者3件	そば米、そば粉、乾燥 麴、粉末乾燥麴、α化 米、板こんにゃく、糸 こんにゃく	徳島市「タウンホテル 千代」
	有機農産物生産行程管理者1件	洋人参	
平成23年7月14日	有機加工食品生産行程管理者1件	粉末納豆、乾燥納豆、 焙煎納豆、桑の葉納豆	徳島市「タウンホテル 千代」
	有機加工食品小分け業者1件	豆乳ティーバッグ	
平成23年8月12日	有機農産物生産行程管理者8件	ゆず	徳島市「タウンホテル 千代」
平成23年9月14日	有機加工食品生産行程管理者2件	すだち酢・ゆず酢・ゆ こう酢及びその皮、 晩茶	徳島市「タウンホテル 千代」
平成23年10月15日	有機農産物生産行程管理者6件	すだち、ゆこう、ゆ ず、茶、黒米、コシヒ カリ、徳ばん、さとい も、洋人参、れんこん	徳島市「タウンホテル 千代」
平成23年12月28日	有機加工食品生産行程管理者2件	ゆず酢、すだち・ゆこ う・ゆず清涼飲料、ノ ニジュース、有機レ モン果汁	徳島市「タウンホテル 千代」
平成24年2月18日	有機農産物生産行程管理者2件	すだち、ゆこう、ゆず	徳島市「タウンホテル 千代」
	有機加工食品生産行程管理者1件	ゆず酢	
平成24年3月19日	有機農産物生産行程管理者3件	レンコン、キウイ、み かん、デコポン、はる み、ゆず、たまみ、セ トカ	徳島市「タウンホテル 千代」

有機認定者一覧

■有機農産物

No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日	No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日
1	天田善信	美馬市	ゆず	14.11.28	7	井上武夫	美馬市	ゆず	16.6.15
2	美馬キウイ生産 組合(4戸)	美馬市 つるぎ町	キウイフルーツ	15.2.17	8	若宮重利	美馬市	ゆず	16.6.15
3	阪東農園	上勝町	すだち、ゆず、 ゆこう、茶	15.9.12	9	久次米靖章	藍住町	洋人参	16.10.26
4	松家繁信	美馬市	ゆず	15.9.12	10	横手忠男	藍住町	洋人参	16.10.26
5	西村利治	美馬市	ゆず	15.9.12	11	松家安信	美馬市	ゆず	17.6.15
6	新居克之	阿南市	黒米、コシヒカ リ、徳ばん、さ といも	15.9.19	12	香川隆次	美馬市	ゆず	17.6.15
					13	近藤龍一	美馬市	ゆず	17.8.9

(4) 平成24年 3月31日

No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日	No.	生産者名	栽培地	農産物名	認定年月日
14	田中康啓	勝浦町	すだち、ゆこう、ゆず	17.10.18	17	マルサカ有機生産組合	北島町	れんこん	18.11.29
15	藤本高次	美馬市	ゆず	17.10.18	18	小山恒夫	阿波市	米	21.2.20
16	(有)酒井農園	鳴門市	れんこん	17.11.21	19	宮田新二	勝浦町	デコボン、はるみ、ゆず、たまみ、セトカ	21.2.20

■有機農産物加工食品

No.	製造業者名	製造地	加工食品名	認定年月日	No.	製造業者名	製造地	加工食品名	認定年月日
20	阪東食品	上勝町	すだち酢、ゆず酢、ゆこう酢、皮、晩茶	15.9.18	24	(有)ハス商会	勝浦町	粉末納豆、乾燥納豆、焙煎納豆、桑の葉納豆	18.7.26
21	野田ハニ一食品工業(株)	吉野川市	すだち・ゆこう・ゆず清涼飲料、ノニジュース	15.9.18	25	片岡蒟蒻	つるぎ町	有機板こんにゃく、有機糸こんにゃく	19.5.16
22	J A 美馬	美馬市	ゆず酢	15.11.10	26	徳島製麴(株)	阿波市	乾燥麴、粉末乾燥麴、α化米	20.5.19
23	(株)谷食糧	石井町	そば米、そば粉	18.3.31	27	徳島産業(株)	板野町	有機レモン果汁	20.12.19
					28	(株)阿波酢造	勝浦町	すだち酢	21.9.15

■有機食品小分け

No.	小分け業者名	小分け地	小分け食品名	認定年月日
29	(有)ハス商会	勝浦町	有機豆乳ティーバッグ	18.8.2

J A S 規格改正の概要

有機農産物の日本農林規格（平成24年 3月28日農林水産省告示第833号）及び有機加工食品の日本農林規格（平成24年 3月28日農林水産省告示834号）が改正され、平成24年 4月27日から施行されます。

また、現在、国においてパブリックコメントを募集中であるそれぞれの認定の技術的基準及び検査方法も改正される予定です。

施行後は、新しい規格等に基づき適正に生産行程を管理し、格付をしていく必要があります。その、改正等の概要を紹介します。

○ 有機農産物の日本農林規格改正の概要

1 生産の方法

ア 有機種苗の入手が困難な場合又は品種の維持更新に必要な場合の有機以外の種苗の使用について細かく規定する。ただし、有機以外の種苗が使用可能な場合であっても、植え付け後にほ場で持続的効果を示す化学的な肥料及び農薬が使用されていない種苗に限ることとする。

イ ほ場に外部から生物(有用微生物、ミミズ等)を導入できることとする。

2 ほ場又は栽培場における有害動植物の防除

ア 紙マルチの使用についての記載を一般管理の項からほ場又は栽培場における有害動植物の防除の項へ移動し、プラスチックマルチについて使用後に取り除く場合は使用可能であることを規定する。
(現行Q&Aの内容)

3 育苗管理

育苗に使用する土壌の条件をほ場の条件と同様に過去2年以上の間、使用禁止資材が飛来、流入又は使用されていない土壌とする。

4 収穫、輸送、選別、調製、洗浄、貯蔵、包装その他の収穫以後の工程

ア 有害動植物の防除目的で使用可能な薬剤について、有機加工食品のJAS規格別表2の引用をやめ、有機農産物の規格中に別表を新設する。

イ 調製用等資材について、製造工程において化学的に合成された物質が添加されていないものに限る条件を削除する。

5 有機農産物の名称の表示の改正

転換期間中の表示は、シールでの対応がしやすいように、名称又は商品名の表示に近接した場所に記載することとする。

6 資材の改正

使用可能な肥料及び土壌改良資材について、追加及び削除を行う。

7 きのこと類は、他の農産物とは生産の方法が異なることから、きのこと類の栽培場の定義、種菌及び栽培場における栽培管理の基準について明記する。

○ 有機加工食品の日本農林規格の改正の概要

1 定義の改正

有機格付されたものを一般飲食物添加物として使用する場合は、有機原料としてカウントできることを規定する。

2 生産の方法についての基準の改正

ア 原材料として使用する有機以外の農畜産物等については、有機農畜産物等の入手が困難な場合に限り使用できるよう厳格化する。

イ 別表2の薬剤については、有機加工食品へ直接使用するものではないことから、組換えDNA技術を用いて製造したものを除外する条件を廃止する。

ウ 有機加工食品の製造や保管を行っていない間には、製造工場内等の病虫害の防除に別表2以外の薬剤を使用できることを規定する。

3 有機加工食品の名称及び原材料名の表示の改正

ア 有機農畜産物加工食品の名称の表示が有機農産物加工食品の名称と同一となるものについては、有機農産物加工食品でないことが分かるように記載することを規定する。

イ 転換期間中の表示は、現行では転換期間終了後にラベルの改版が必要となっているところ。転換期間中である旨をシールで表示しやすいように、名称又は商品名の表示に近接した場所に1箇所記載することより、名称及び原材料名欄の転換期間中の表示を省略できることとする。

4 資材の改正

ア 食品添加物

(ア) 使用可能な食品添加物について、追加及び削除を行う。

(イ) 別表1にINS番号(食品添加物の国際番号付与システムによる番号)を追加する。

イ 薬剤

使用可能な薬剤について、追加及び削除を行う。

○ 認定の技術的基準の現在のパブリックコメントにおける改正内容

生産及び保管に係る施設の基準に「清掃」を、内部規定に記載する事項として「苦情処理」に関する事項を追加する。

○ 検査方法の現在のパブリックコメントにおける改正内容

生産行程の管理記録の事項について、種子等の使用量の管理が困難な場合があることから購入量による管理を認める。

事務所案内図



編集後記

昨年、3月11日の東日本大地震からはや1年が経過しました。がれきの処分や放射能汚染の問題等多くの難題が山積する中で、政府や自治体は勿論、国民の支援により1日も早い被災地の復興を願うばかりです。

平成24年3月28日にJAS規格が改正、また、認定の技術的基準等の改正も予定され、更には、認定機関の登録基準の見直し(新たなISO/IEC 17065に対応)が行われております。

一方、農林水産省が22~23年度の2年間をかけた有機使用可能資材がいよいよリスト化され公表されます。認定事業者の資材選択や認定機関の可否の判断を容易にするものと期待されております。

こうした、新たなスキームの中で、本協会の運営と適正な認証業務を行ってまいりますので、今後とも皆様方の一層の御理解と御協力をお願いします。

事務局・本誌編集担当者 吉岡 廣美